

社会科

見学

植えて、育てて、収穫して、また植える

森林の循環 サイクルを守る



石川県は県土の68%が森林です。豊かな森林は私たちの生活にいろいろな恩恵をもたらしてくれます。「えっ、そんなに森林って広いの?」「森はどんな役割を果たしてるの?」にじいる探検クラブのみんなは疑問を解決しに、石川県産材「能登ヒバ」の産地、能登の山林に行ってきました。

苗木を植えてから40〜50年で収穫

●リュウ「木がいっぱいだ」
●古谷さん「滑らないよう足元に気を付けてください」
案内役は木材の加工から販売を行い、県産材を使った新しい取り組にも挑戦している、県木材青壮年会木材PR委員の古谷隆明さんです。

●古谷さん「ここは森の中だから、暗くないでしよう?」
苗木を植えた後、下刈り、除伐、間伐など適正な管理をしているから日光が差し込むんだよ」
下刈りとは苗木周りの雑草や雑木を刈り取ることです。除伐は育つ見込みのない木や苗木以外に生えてきた木を切る。間伐は成長した木の枝が重なり合ったところに、木と木の間隔を広げる間引きのことです。



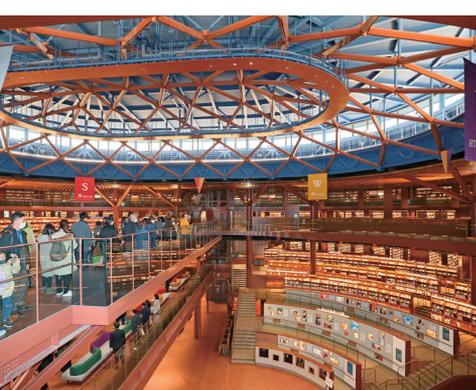
おしえてくれたのは
石川県木材青壮年会木材PR委員
フルタニランバー代表取締役
古谷隆明さん

間伐をしないと、森の中に光が入りにくくなるので森林が荒れてしまい、1本1本の木も弱くなってしまいます。

▲適切に手入れをされた森林は光が差し込んで明るい



石川県は68%が森林で、優れた県産材が豊富



能登ヒバがふんだんに使われた県立図書館

●古谷さん「いいね! 苗木棚を作ったことがあるよ」
●リュウ「夏休みの宿題で本棚を作ろう!」と盛り上がりながら帰路につきました。

にじいる探検クラブの3人は「今年の夏休みは木工作品を作ろう!」と盛り上がりながら帰路につきました。

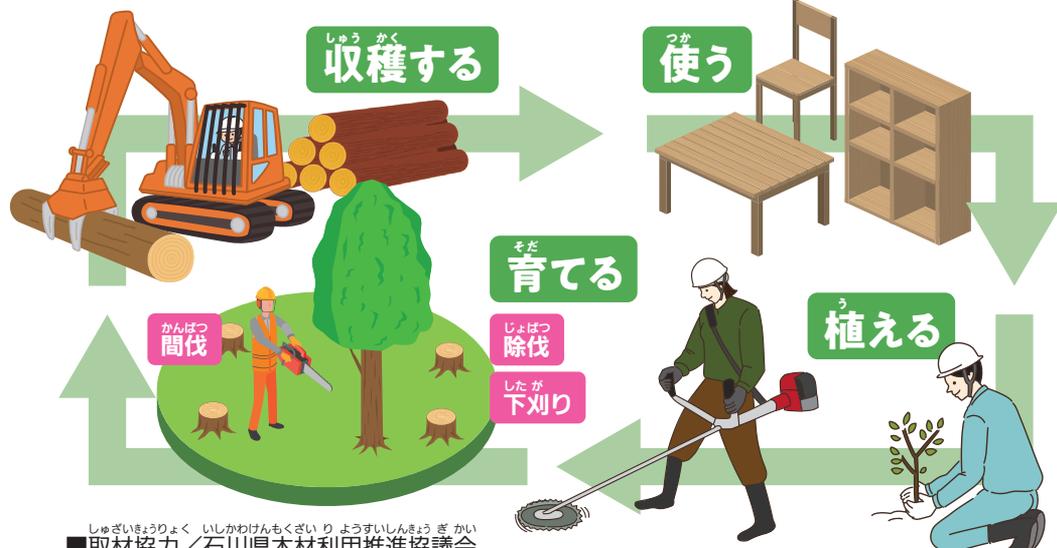
●古谷さん「住宅などの建材や家具、アート作品などに使われているよ。石川県の能登ヒバは殺菌・防腐効果のある成分が含まれており、耐久性に優れています」

●古谷さん「苗木を植えてから40〜50年ほどかかります。手入れをして森林荒廃を防ぐことが地球温暖化防止や防災に役立ちます」

幅広い用途で使われる県産材

●古谷さん「苗木を植えてから40〜50年ほどかかります。手入れをして森林荒廃を防ぐことが地球温暖化防止や防災に役立ちます」

●古谷さん「苗木を植えてから40〜50年ほどかかります。手入れをして森林荒廃を防ぐことが地球温暖化防止や防災に役立ちます」



第36回 夏休み子ども木工教室

けんさんざい つか づく
県産材を使ってトレジャーボックスを作ろう!

■日時/8月6日(日) 9:00~12:30
■会場/石川森林文化ホール
(金沢市東蚊爪町1-23-1)
■定員/小学生120人(定員になり次第締切)
※スギ60セット・能登ヒバ60セット
■申し込み/石川県木材利用推進協議会
☎076(237)0121 (9:00~17:00)
★インターネットからも申し込みできます▶
主催:石川県木材利用推進協議会 協力:石川県木材青壮年会

